

2011年、年の始めに誓いを立てた方もいらっしゃると思いますが、春の訪れを感じるようになった今日このごろまで、その誓いは継続できていますか？

当院でも禁煙外来が1月から再開され、「今年こそ！！」という強い気持ちで、禁煙治療を始められた方が何人もいます。

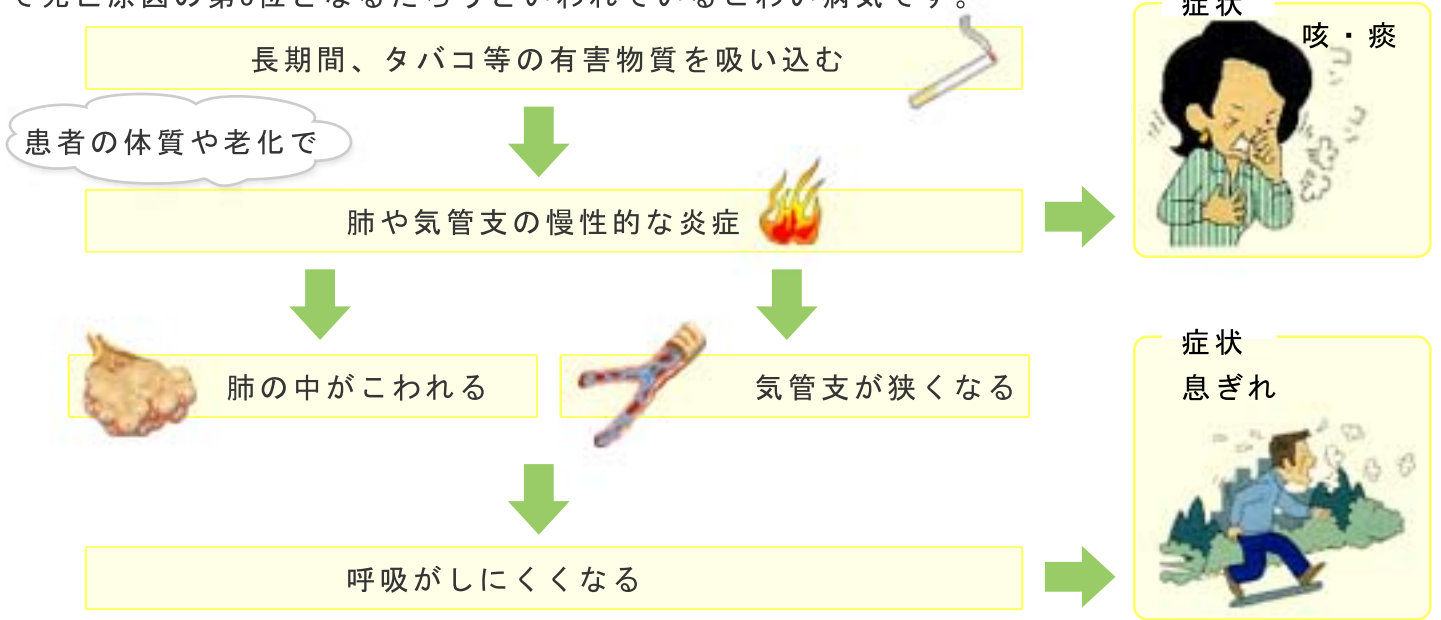
今回は、そんな皆さんを応援すると共に、もし、喫煙を続けるとかかる可能性の高い病気、別名「たばこ病」とも呼ばれる「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」についてお話ししたいと思います。



シオーピーディー

COPDってどんな病気？

COPDとは喫煙を主な原因とする、肺の生活習慣病です。長い間、たばこを吸うことによって、肺が炎症を起こし、気管支が狭くなり、呼吸器の機能が低下します。病気が進めば肺気腫や慢性気管支炎になりますが、それらをまとめてCOPDと言っています。現在40才以上の日本人の500～600万人がこの病気にかかっているといわれ、2020年には、世界で死亡原因の第3位となるだろうといわれている怖い病気です。



当初の自覚症状に乏しいため”年のせい”にしたり、”風邪が長びいている”と思っているうちに、病気が進行し、気付いた時には、かなり重症となり、日常生活に支障をきたしてしまうようになります。

では、どのような症状があれば、気をつけなければならないのかチェックしてみましょ～。

COPD自覚症状チェック

- 現在たばこを吸っている、または吸っていた。
- 10年以上、喫煙している。
- 40才以上である。
- せき、たんが数ヶ月続いている。
- 階段、坂道を上ると息が切れる。
- 同年代の人と同じペースで歩けない。
- 散歩する時は途中で、ひと休みしないとしんどい。



みなさんいかがでしたか？

喫煙歴のある中高年の人にこれらの症状があれば、COPDが疑われます。チェック項目で「はい」が多い方は早めの検査をおすすめします。

ここで当院での主な検査と治療を紹介したいと思います。

主な検査

問診



現在までの喫煙歴
自覚症状、他の病気等の
問診と聴診

胸部X線



スパイロメーター



CT 必要に応じて、他の病院に依頼

治療

禁煙



吸入を中心とした内科治療



在宅酸素治療



財団法人 結核予防会より参照 <http://www.jotahq.org>

COPDは進行性の病気です。現在、COPDを完全に治す治療はありませんが、早期発見、早期治療により、病気の進行をとめ症状を和らげ、生活の質を向上することができます。

心あたりのある方は、お気軽に当院にご相談ください。

＊お知らせ＊

4月23日（土）は学会出席の為、**休診**させていただきます。
ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。



編集後記

3月11日、思いもよらぬ震災がおきてしまいました。

ニュースや新聞を見聞き、言葉を失うとともに、ただただ心が痛みます。

東日本大震災において被災地および被災された方、そのご家族関係者の皆様に

心よりお見舞い申し上げます。

1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

編集者 佐々木 えり子

